

「自社製品の効果は大きい」と語る最上社長



「いずれは100%に近い割合まで自社製品を伸ばしたい」と語る最上社長

「Go Toトラベル」が中断されてからは低調な推移が続いていたが、広島県独自の観光



うどんとしょうゆのセットや手延べラーメンも人気

「経営者と直接話ができて楽しかった」「成長の理由がよく分かった」と、非常に好評だった。協力企業の側も、外部の人を受け入れることでモチベーションアップや知名度

(続く)

があり、開発が可能な下地があったという。オリジナルのそうめんからスタートし、徐々にラインアップを拡充。2012年に直売所を設け、その後補助金を使ってロゴマークも作成した。「注目してもらうには、たくさんアイテムをそろえることが重要」と最上社長。

産業観光で生き残り

続いては、コロナ禍に直撃されている観光業。福山観光旅行(株)(福山市丸之内)は観光や出張の取り扱

「い」とする一方、「経営の観点からは、自社で作る物は失敗が許されない。いろいろな人と相談しながら、一つ一つを丁寧に取りたい」と話す。最上社長によると、コロナ禍で在宅時間が伸びた時期は、手延べ麺の需要も拡大したという。しかしこれは、あくまでも外的要因によるもの。「コロナ後を見据え、改めてPRしていかないと」と力を込める。直売所の営業時間は月～土曜が9～18時、日曜と祝日は9～17時。商品は同社ホームページでの通信販売も行う。



直売所を通じてリピーターを増やす

「参加者アンケートでは『経営者と直接話ができて楽しかった』『成長の理由がよく分かった』と、非常に好評だった。協力企業の側も、外部の人を受け入れることでモチベーションアップや知名度

地場有名企業を見学



御幸鉄工所での産業観光ツアーの様子

向上につながるのでは」

本格スタートを前に、現時点で一五社ほどのものづくり会社の協力を取り付けた。精密製造の(株)キャステム(御幸町)やデニム生地製造の篠原テキスタイル(株)(駅家町)、看板類製作の(株)タイン広美社(府中市河南町)といった有名企業も見学先になる。